



## 水路クリーンアップ完了 用水ポンプ準備OK

水路中で土砂をバケツに入れる人、引き上げる人それぞれ役割分担

5月26日、水路一斉清掃が行われました。地区の水路は一般生活排水と農業用が兼用になっているので、農業者だけでなく地域全体が取り組みました。

水路の泥は前年の雨降りの状況で大きく異なります。昨年は比較的穏やかな気象状況だったので、土砂の堆積は比較的少ない方でした。

土砂が多くとまるのは、東側の山から流れでる水が、合流するところです。

水路から道路までは数メートルの高さがありますので、ロープを付けたバケツで引き上げることとなります。これはかなりの重労働です。

午前10時には、市から委託を受けた清掃業者のパッカー車が次々に到着、道路に引き上げた土砂をどんどん積み込んでくれました。

八方原の環境を守る会では昨年度、こうした作業のための、スコップ、鋤簾（じょれん）、鋤（すき）などを購入しましたので、多くの方に使っていただきました。

水利担当の杉山さんは「午前11時までにすべて終わることができた。予定通りだった」と満足げでした。皆さんご苦労さまでした。

6月7日には、農業用ポンプが運転

### チップソー替え刃を配布

農地・水管理保全活動の中でも大きな部分を占めるのが、「きめ細やかな雑草対策」です。いかに雑草を管理するか、本当に厳しい作業です。

八方原の環境を守る会では、農地周辺の雑草管理共同作業に参加して頂いている方に、草刈り用の刈取り刃の配布をしています。安全に、効率よくお使いください。

### 元気だね！「すっぽん君」



みんなから「逃がしてやれ」の声、記念撮影の後にリリース

水路清掃の途中で中村さんが「すっぽん」を捕まえました。

を開始します。数日のうちに約30ヘクタールの圃場は、水田に変わります。その前に麦の刈取りがありました。6月1日から刈取りが始まるようですが、天候が心配です。



県道下の水路の泥上げに人手が足りない、急ぎょ精鋭が駆けつけた

# 共同作業 一番の重労働 「排水路の泥上げ」

農業者中心の排水路の泥上げ作業が、5月12日に行われました。一般排水路とは異なり、一旦圃場に入った水の排水ですので、土砂が溜まりやすいのです。

作業は一年に一回、昨年来からの土砂が溜まっています。すくい上げた泥は、決められた畦地に置かれます。今年には水路の北側にあげるように指示されました。

しっかりと水を含んだ土砂は、スコップにズシリと応えます。額の汗をぬぐいながら、懸命の作業です。開始



スコップにねばりつく泥、汗だくの作業

## 緊急時に備えて避難訓練



訓練の繰り返し、緊急時に役に立つ

からおよそ3時間、どの排水路の底もきれいになりました。

5月12日、公民館の避難訓練が、消防組訓練と一緒に行われました。昨年来、こうした地域の公共施設にも、避難訓練が義務付けられました。

公民館で火災が発生したという想定で、訓練が始まりました。消防組は直ちに出勤し、放水による初期消火、負傷者の担架搬送、施設利用者の避難誘導と避難場所への移動の安全確保が的確に行われました。

緊急時にも、訓練と同様に落ち着いて行動ができるかどうか、一番の問題です。それができるかどうかは、この訓練にかかっています。

## 香竹庵だより⑥ 雑草との戦いの日々

庵主 神武正信

「地球は雑草の星である」ここ八方原にきて、家庭菜園を初め、少しの花栽培とを始めてみると、とにかく、雑草取りに追われています。農業されている方には、当たり前のごとでしょうが、こんなにも雑草とりにおわれるとは思ってもみませんでした。

鋼板の円盤刃では堅い草を、紐で若い雑草を刈っています。平地の草刈りならまだしも、斜面の草刈りと

なると大変です。足場を確保しながらの草刈り作業。おまけに、岩がでていると、円盤刃では危ないことも

あります。刃が岩に当たると跳ね返されてしまいます。そのようなときは、紐に切り替えます。できるだけ若い

草の時に、紐で刈るようにしていますが、手が回らず、堅くなった草をどうしても、円盤刃でやらざるを得ないときもあります。

畑に生えてくる雑草取りも大変です。しゃがんでの草取りは、体中が悲鳴をあげます。

今日も、エンジンを響かせながら草刈正信は行く。

## 確実な点検で 異常事態に備える消防組

八方原消防組は大雨災害に備えて、土嚢を120個作り、危険個所に置きました。また、施設点検では、事業所地区にある防火用タンクの水量に異常があるということで関係機関に連絡することにしました。

年初の合同訓練の時から、エンジンの不調に悩まされていた消防ポンプは業者による修理が行われ、ようやく本来の力を取り戻しました。

## みんなで楽しんだ「綱引き大会」

5月19日に予定されていた小郡地域大運動会は、雨のために中止となり、綱引き大会として行われることになりました。

八方原チームは大人チームだけの参加でしたが、大会は子どもたちのクラスから始まり、地区の小学生たちは出場できませんでした。

とうとう大人のチームの中に入って、一緒に綱を引きました。やっぱり、応援するより「出場」したいよね。